

今かがやいて
—私達の夢、花開いて—

小木町漁業協同組合婦人部
部長 高津 富子

1. 地域の概況

私の住んでいる小木町は、佐渡の最南端に位置し、暖かく、自然も人も優しい千石船の里である。又、夏には、アースセレブレーションが小木を拠点とする太鼓集団、鼓童によって開催され、伝統的な音楽、芸能が広く海外にまで紹介されている。

2. 漁業の概況

私の所属する小木町漁業協同組合は、正組合員180名、准組合員150名、計330名からなっているが、近年、高齢化に伴い組合員が減少してきている。

主な漁業種類は、大型定置網、一本釣り、延縄、刺網、根つけ漁業を主体とした沿岸漁業である。

平成11年度の水揚げ高は約3億5千万円であるが、前年度より落ち込んでいる。これは魚価安、資源の枯渇、定置網の不漁などが原因しているかと思う。

3. 研究グループの組織と運営

婦人部の組織は、上町、下町、開拓の3つのブロックに分かれ、それぞれ2名ずつの役員に部長1名の計7名、部員総数30名で成り立っている。

主な活動内容は、水産加工品販売、魚食普及、日用品共同購買、貯蓄推進等である。

4. 研究・実践活動課題選定の動機

私自身のことを言わせてもらえば、平成6年、NTT佐和田支店を49歳で退職した。次の年、主人が57歳で小木郵便局を退職し漁師に転業し、サラリーマン時代准組合員としてお世話になったのだからと、二人ともお礼奉公のつもりで海の世界へ入った。そして現在、主人は組合長、佐渡海区漁業調整委員に、私は婦人部の部長になっている。

漁協が伸びるためには、町や婦人部の活性化につながることは何が出来るか考え始め、町長さんや農林水産課にも漁協婦人部をPRし、私達の町主催のイベントやボランティアなどに参加している内に、お互いの協力体制ができてきた。そんな中、環日本海時代の到来が呼ばれ、日本海が注目されている。

このような中、観光振興を図るため環日本海時代を視野に入れたさかな祭りが小木で開かれた。これは、海、魚をテーマとし、特に長野県方面の方々をターゲットに新鮮な魚介類を格安に提供することと、特産品の即売を行うものである。私達婦人部も町から依頼を受け、何か出来ないか検討した結果、佐渡島内では値のでないホッケに着目し、ホッケの加工品を造ることになった。これが婦人部が行う加工販売のきっかけである。

5. 研究・実践活動状況及び成果

小木でのさかな祭りにおいて、値のでないホッケが余っていることや普通の魚汁では骨があり子供が食べづらいことから、私達は加工品をホッケのたたき（この地方のつみれの呼び方）に決め、沖汁2千人分のサービスと、資金稼ぎにパック詰め500g、500円で200個売った。2千人分の沖汁も、パック入りのホッケのたたきもきれいになくなり、皆さんに喜ばれ、又この漁協婦人部の団結力と実行力で、これからもなんでもやっていると自信と確信をもった。

さかな祭りも今年で7年目であるが、漁協婦人部がいなければさかな祭りはできないと頼りにされている。

その後、ホッケのたたきが美味しかったと注文が続々と入り、いつもはそのまま捨てられているこの安いホッケに付加価値がつけられるのならと、部員で小木町役場の調理室を借りて造り始めた。役場農林水産課の人々も応援してくれた。また、県の水産試験場（現水産海洋研究所）へも商品を持っていったところ、氷水による水晒し（血や脂など不要な成分の除去）をきちんと行うなど品質の向上に良く努めていることや魚臭を抑えて万人に受け入れられる様にしたこと等から、とても良い商品だとのお墨つきをもらった。

この商品の名前を「大漁つみれ」と命名、県の物産展に出店したり、デパートのイベントなどに参加している内に、NHKが取り上げて放送してくれた。

大漁つみれは町の人気者になったが、いつまでも役場の調理室を借りてばかりいられなくなった。私達も店と加工所があったらどんなに良いだろうかと、部員一同夢にえがき思うようになった。でも、漁協にも婦人部にもそんな予算はない。また、行政に頼ってばかりいたのでは夢は実現しない。

次の年の平成7年、商店街の中央にある私の家も息子夫婦に子供が産まれることになり、住宅を建て替える準備中だったので、自宅を利用して婦人部が自ら加工品を造り販売出来る場をつくりたいと家族に話したところ、漁協婦人部のためにやってみたらとの理解ある返事と、私達も手伝うからとの女性部の皆さんに励まされ、間口3間半、奥行3間の店と3間半と2間半の調理室を造った。

開店にあたり、相川保健所や税務署の方々には大変お世話になり感謝している。

資金は私の退職金から出した。それなりにお金がかかったが、希望に燃えて平成8年5月1日、魚屋さんを刺激したくないのと、いろいろなものが売れるからとの理由で、みやげもの店「漁師の母ちゃんの店」として船出した。私の個人経営の店ではあるが、婦人部が気兼ねなく自由に使える店が完成したのである。丁度、バブルもはじけて国も町も不景気で、閉店する店があっても開店する店など一軒もない時だったが、赤字を出さなければ、あまり儲けず信用第一に良い品を安く笑顔で頑張れやと、漁師の人々に激励された。

婦人部が一生懸命造った、ホッケのたたきが5月～7月までの目玉商品となった。小木町の住民と観光客だけでは大した売り上げにもならないからと、その年、郵便局の冬ギフトにも参加し、又信越のNTTのOBへのダイレクトメール発送、友人知人に宣伝してもらったり、お中元やお歳暮にと年々利用者が増え、去年は1万個の小包を発送することができた。

店で扱っている品物は、沖漬け、めかぶ、ながも、干物、一夜干しいか、一夜干しイナ

ダなどを扱っている。純佐渡産に拘り、漁協や漁業者が安くて困るという魚や、もぞくなど、仲買の買値より高く買って付加価値をつけて売るようにしている。

一夜干しいかはもとより、一夜干しいかがあるのなら二日干しいかがあっても良いのではという婦人部員のアイデアにより造ってみたところ、観光客の皆さんが持ち歩くのに便利と、若い人は歯ごたえがあつていいと言うことで、今売れている。又、5月、6月に獲れる小型のいかは丸干しとして、どうにか干せる大きさのいかは麦いかの名前で売っている。

「麦いかあります」と店の前に書いておくと、何だろう？（麦の穂が実り始める時期に獲れ、形も麦の穂に似ているから麦いかと呼んでいる）と珍しがって店に入ってきてくれる。味見して、小さいけど美味しいと言って買ってくれる。

漁師が命がけで獲ったものは、無駄なく販売している。イナダが獲れすぎたと言えどイナダの一夜干しを造り、もぞくが安値で困ると言えど仲買の買値より高く買って販売している。トビのだしも食べたことのない人には売れないので、あえて小木町出身者を対象に関東小木人会の人にダイレクトメールを出して完売している。

6. 波及効果

「漁師の母ちゃんの店」を持ったことにより、婦人部員の人々は魚に対する見方が変わり、どのようにしたら美味しく、また、付加価値がつけられるか工夫している。これからも加工品に夢を持ちたいと思っている。

漁協婦人部の活動も加工販売を始めとして、大豆作りの農業体験、浜の母ちゃんの料理講習を通じた農家婦人との交流、そして、佐渡地域農山漁村女性フォーラムへの参加など活発になった。また、漁協でも婦人部は仲買より高く買うので頼りにされている。私達婦人部の時給は、浜と同じ1時間800円に決めている。自分達のお金を持ったことにより、漁協共済のチョコの保険にも部員で加入し、満期を楽しみにしている。また、お金を貯めて山形の善宝寺さんへ1年1回、漁づけの旅行に利用したり、働く喜びと生きる喜びを得、心身ともに若返っている。

7. 今後の課題や計画と問題点

開店5年目の節目の年にこのような大きな大会に参加させていただき、部員一同大変うれしく思っている。自己資金で自分達の思うように仕入れ、思うように売る。地元の評判も良く、みやげもの店にない心のこもった商品をサービスで、売り上げの増加につながったと思う。旅の情報誌「ルルブ」や特産品カタログの「佐渡まるかじりカタログ」などの雑誌にも紹介され、さらに漁協の応援や協力で婦人部もますます活性化してきた。店の経営について言えば、婦人部が活発に利用してくれたことにより、赤字を出すこともなくやってこれた。これからも本物に拘って、私達漁業に携わる一人一人が自覚を持ち、魚を愛し、海を愛し、明るく楽しい漁協女性部の生活の場としていきたいと思う。

祝 町制施行100周年

第6回佐渡が島



小木！ふれあい さがが島 祭り

即売会

期日

6月4日 日

午前9時～午後1時30分

有
料

その他

タコ焼き
クレープ、
手づくりおかし
野菜
佐渡農水産加工品 など

大型定置網の活魚の即売

獲れたつぶり、タイ、ヒラメなど……
アジ、サケなど新鮮魚を特別サービス

特別販売会

大衆魚の格安即売
サザエ、アワビなど

小木町特産品販売会

みやげ品から郷土玩具まで

爽快！日本海沖汁

さかな祭り参加者に特別サービス
サービス（漁協員入場）

サービスイベント

魚つかみ取りゲーム
大型（生け簀）で魚つかみ取りゲーム
イナダ、サジなど

郷土芸能の披露

■「さざなみ」の舞
■「稲刈り」の舞
■「存会」による
町民の踊り

主催／「佐渡が島小木！ふれあい・さがが島祭り」実行委員会

共催／佐渡観光協会

後援／佐渡汽船㈱

協賛団体／小木町商工会・小木町観光協会・小木町漁業協同組合
佐渡農業協同組合・小木町民宿組合・小木町旅館組合・
小木町大謀網組合・江積水産組合・力屋観光汽船㈱・
おみやげ市場小木家・佐渡食産㈱・佐渡汽船商事㈱・
前佐渡運送㈱・小木町竹工協同組合

お問い合わせ／小木町企画商工観光課 企画調整係

☎ 0259 - 86 - 1113

会場 アマチュア秀作美術館前広場

